

# 平成28年度「国有林モニターアンケート（第1回）」調査結果

近畿中国森林管理局では、国有林モニターにご登録いただいている皆さまから、今後の国有林野の管理経営や広報活動の参考にさせていただくために、以下のアンケートにご協力いただきました。

## 森林や林業の現状と課題について

(単位:人、%)

質問1	日本の森林のうち、人が植えて育てているものを人工林といいます。人工林の多くは戦後に植えられたもので、近年、間伐が必要な時期から木材として利用できる時期に移りつつあります。そのため、木材利用による林業振興と新たな植林によるCO2吸収量増加を見込んで、高齢の人工林を伐採してそこに若い苗木を植える森林の「若返り」を図る動きが見られますが、このことについてどのように思われますか。1つお選びください。			
①	森林資源(木材)の安定的な供給と林業の振興のために必要	31	61%	
②	二酸化炭素の吸収能力(炭素の固定速度)の低下を防ぐために必要	11	22%	
③	皆伐する面積は最小限に止めるべき	3	6%	
④	伐採後は自然にまかせて人工林を減らしていくべき	2	4%	
⑤	若返りは必要ない(今の状況が続けることが望ましい)	0	0%	
⑥	その他	4	8%	
計		51		

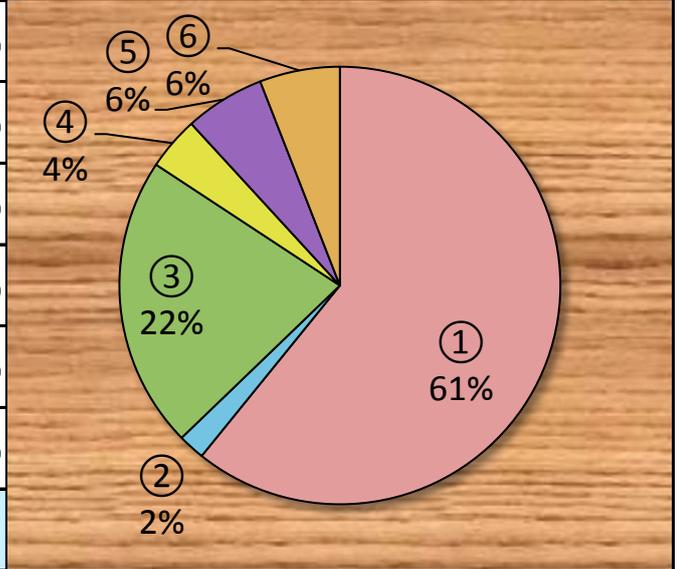
### 【その他の意見】

- ・災害から身を守るためにも必要ではないかと思えます。
- ・杉の植林などによる花粉症の影響を考えると、全国一律に人工林を増やすのではなく、防災面や貯水を考えて森林の植樹計画が必要と思えます。絶対に人工林がいるとするのではなく、自然林で問題がないところについては手を入れないほうが良いと思えます。
- ・国産木材の供給率の安定化や、植林による二酸化炭素の吸収能力の安定化を図る事は急務だと感じますが、なによりこの二つのバランスを考えつつの計画でなければならないと思えます。森や木に関する計画は、何十年先を視野に入れて行っていかなければならない事業ですが、スパンが長いだけに、じっくりとした確かな軌跡を残してゆける事業でもあると期待しています。
- ・①と④の組み合わせが必要。奥山は自然林にする方が良いのでは。

(単位:人、%)

質問2 我が国の木材自給率は、平成14年度の18.2%から、平成26年度には31.2%と回復傾向にあります。もし、ご自宅を建築する場合や家具(机など)の購入する場合を仮定して、どのように購入を検討されるでしょうか。1つお選びください。

①	木材を積極的に使用した製品、あるいは木造住宅を選ぶ	31	61%
②	安価な方を選ぶ	1	2%
③	品質やデザインの良い方を選ぶ	11	22%
④	木材以外の製品、住宅であれば鉄筋コンクリートや集合住宅を選ぶ	2	4%
⑤	大手メーカーやブランドの製品が安心なので、材料を選択する余地が無い	3	6%
⑥	その他	3	6%
計		51	



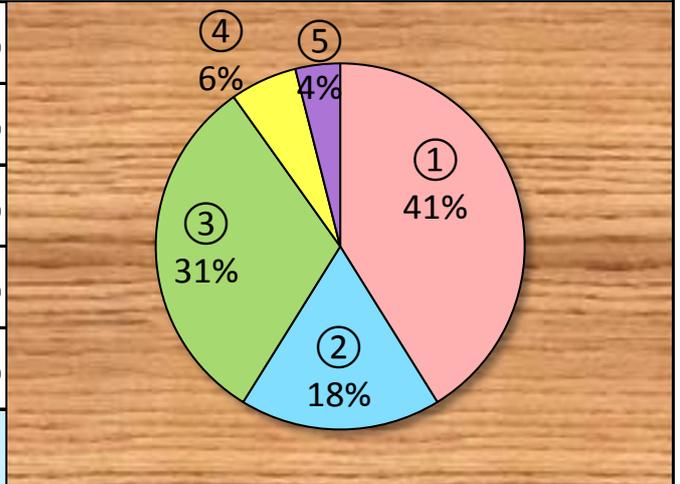
【その他の意見】

- ・木材は利用したいが、価格やデザインなど総合的に判断すると思う。
- ・全く家も家具も購入の予定が無いので選択するのが難しいのですが、前にタンスを買うとき高くても環境ホルモンをおさえたタンスにしました。子供用には安心安全なものを出来るだけ選びたいです。
- ・兵庫県の木を使ったものでしたいが、値段が？。
- ・ただし、豪雨災害を経験した身としては、「より頑強な住宅」との考えもあります。

(単位:人、%)

質問3 では、先ほどの質問2に関連して、国産材と外国産材で比較検討した場合を仮定して1つお選びください。

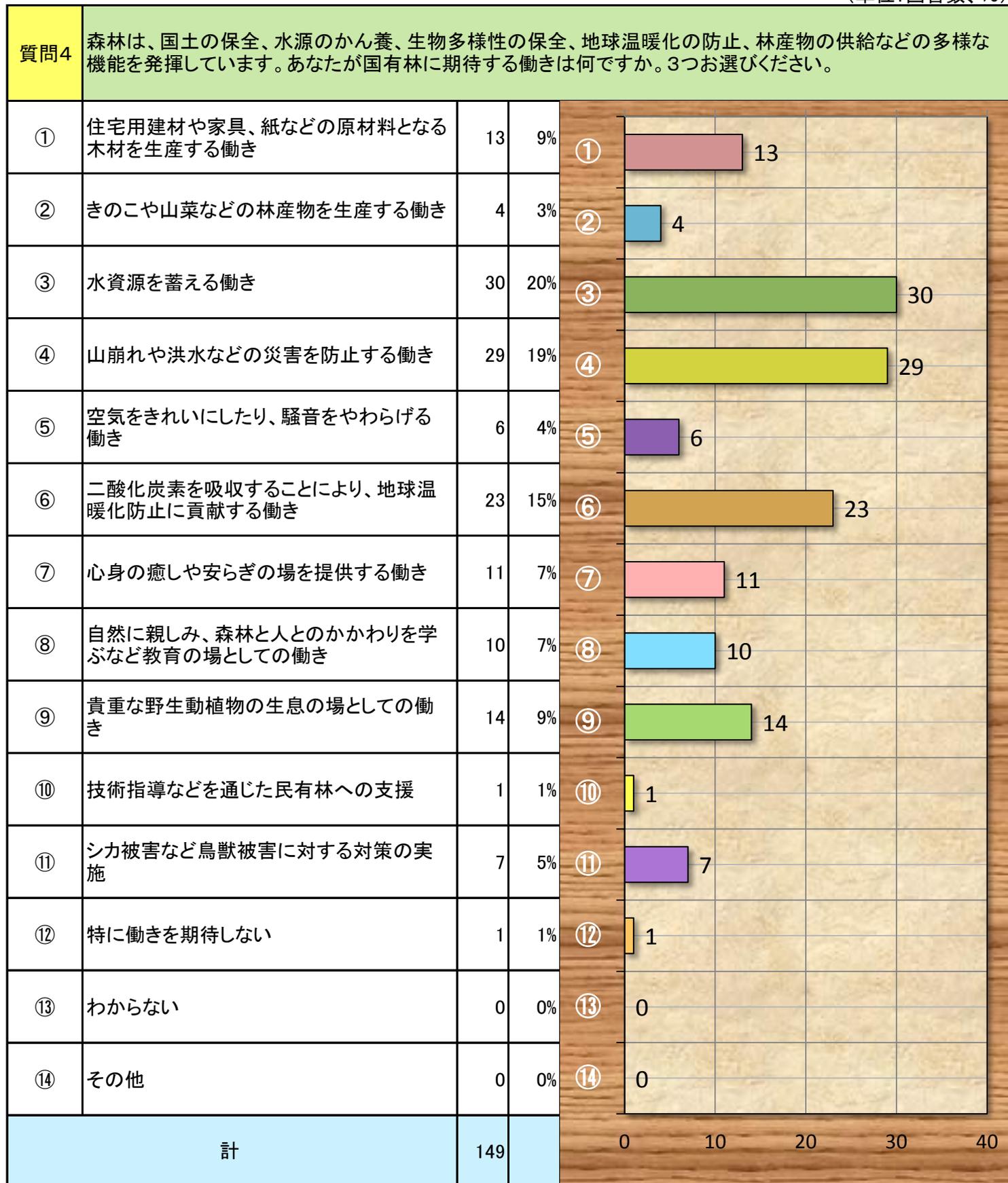
①	国産材(県産材)を積極的に使用する	21	41%
②	外国産材と比べ安価であれば国産材を使用する	9	18%
③	価格より品質・性能・デザインが良ければ国産材を使用する	16	31%
④	大手メーカーやブランドの製品が安心なので、材料を選択する余地が無い	3	6%
⑤	その他	2	4%
計		51	



【その他の意見】

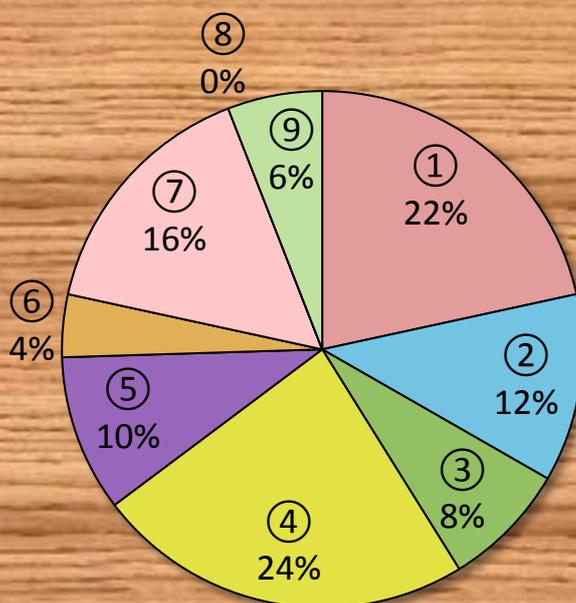
- ・総合的に判断。
- ・①に付け加えて安全安心なものを使いたい。

(単位:回答数、%)



※複数回答可のため、回答数としています。

質問5	森林・林業を取り巻く課題はたくさんありますが、最も早急に取り組む必要があるとお考えのものを1つお選びください。		
①	シカやイノシシなどの鳥獣被害対策	11	22%
②	貴重な動植物や景観の保護	6	12%
③	人工林の整備	4	8%
④	森林作業の担い手確保	12	24%
⑤	森林環境教育や森林に関する情報発信	5	10%
⑥	木材の利用拡大	2	4%
⑦	不在村山林所有者の所有する森林の境界明確化	8	16%
⑧	緊急の課題はない	0	0%
⑨	その他	3	6%
計		51	



### 【その他の意見】

- ・地震や大雨による土砂崩れのような災害の防止。
- ・花粉症対策。
- ・⑤と⑦を同時に進める必要があると思う。

質問6	森林や林業の分野で、ニュース、新聞、雑誌などでよく見かけると思われる項目と目立たない(もっとPRすべき)と思われる項目があれば、ご記入願います。

### 【良く見かける話題】

クマやシカによる被害、山菜取りで行方不明、林業の担い手がない、山地災害、ジビエ、バイオマス発電、人材育成、集中豪雨による土砂災害、「伊勢志摩サミット」主要国首脳が会議を行うテーブルに「尾鷲ヒノキ」材の製品が使われていたこと、8月に制定された祝日「山の日」について、「森の京都博」等の森林にまつわるイベントの開催について、外国人が水の利権のため森林を買っていること、地域での林業への取り組みの紹介、野生生物の生息の場としての森林紹介、低炭素社会、間伐材を使用した製品、スギ花粉の被害、木造建築の増加、有名人の植樹、ペレットストーブ、木工、クラフトづくり

### 【目立たない話題】

植林と木材の利用、森林の働き、二酸化炭素削減、森林や林業をなりわいとする人の育成、「ジビエ料理」の普及、森林組合の役割、山地災害、森林環境教育や森林に関する情報発信、戦後の植林が伐採時期を迎えていること、森林がなぜ必要なのかをPRする取組、自然観察会の催し、自然災害が人為的災害、木材の将来構想、CLT材などの可能性、森林に働く人の苦労や森の現況、植樹祭、みどりの日、「山の日」、バイオマス発電、ペレットストーブ、「森林が果たしている治山、水資源への貢献、海への貢献」、森林保全、治水の役割、林業の仕事、森林資源

質問7

近畿中国森林管理局広報誌「森のひろば」や林野庁広報誌「RINYA」で印象に残った記事、今後取り上げてもらいたい記事などございましたら記入願います。

### 【印象に残った記事】

山地災害の危険信号を見逃すな！、森の名手、お山ん画、森林育種、木材の新たな利用、森での作業の必要性、「国有林野事業の取組」国有林の保護林～制度創設から100年を迎えて、親子木工教室、コスト低減の取組でのコンテナ苗利用について、RINYAのとおきレシピ、天皇皇后両陛下がご臨席された「全国植樹祭」に関する記事、ふるさと納税で丸太を贈呈します！、金山町の街並み景観づくり100年運動、松原小学校5、6年生が「松葉かき」を行いました、人とのつながりが山を守る、緑と木の温もりで熊本の復興を支援、林木育種の最前線、林業で地方創生、山の日(8月10日)が制定されたこと、高松山国有林における復旧活動、森林と動物の問題、森の名手浅見和夫さん、木材の新たな利用CLT、森のひろば表紙の災害発生当時の状況とダム完成状況の写真、子供達の学習の様子

### 【今後取り上げてもらいたい記事】

宝くじのグリーンジャンボの使われ方、山里振興、薬草栽培ブーム(オウレンなど)、「どくだみ茶、タラの木茶、どこまでお茶に出来るのか」、福井県の国有林管理状況について、若手の活躍や教育現場での取り組みについて、子供が森で過ごしたり遊んだりする機会及び場所、最近話題のクマ対策、林業で地方創生、「森林の有効活用、防災面等での重要な役割紹介、バカンス的要素の紹介」、親子木工教室などのイベント、治山事業について、今後予定される「ジビエフェア」開催計画の掲載、森林に現在生息している動植物の紹介等、林野で働く方々のサラメシ、その他の街の取組や活動、杉板を使った間接焼きの手法を使った料理、森のようちえん、ツリーイング、日本の木材を今後どのように利用して行こうと考えているのか、新しい技術や全国各地での取り組みを紹介、イノシシやシカを保護して共存していく為の取組み、一般人が参加出来る行事等、古来より人間活動の主たる場所は「山」だった、学校教育と近畿中国森林管理局の関わり、各地の林業発展に取り組む具体例の紹介、森林職員の平均年齢及び正規職員の割合、旧治山ダムは今どのようなになっているかの姿、多くの林道の状況、外材に比しての、国産木材の利点や優れた点、「災害対策について、現在進行の事業、ならびに、今後の計画等、具体的にどの地域でどのような計画案があるのか」、小さな子供に与える地方の伝統的な「木製のおもちゃ」や木工製品、山岳国スイスの治山事業について、レッドリストになるような動植物、林業をいかに活性化させるか、山を守る(皆伐しない)林業を続けている団体個人の活動について、全国におられる「森の名手」、海外の森林状況～ドイツ 黒い森など、山中で危険動植物に遭遇した場合の対処法、管内の森の列伝。現状と将来の姿(生態系を含めた考え方)、全国各地に存在する白壁の街並みと森林、林業、和風建築との関連で、木製品の良さ、木造住宅のすばらしさ、木を使って出来る商品、木を使った保育所

質問8

近畿中国森林管理局のホームページについて、より多くの方に閲覧していただくための良いアイデア、または森林管理局をより皆さんに知っていただくために必要なことがありましたら、お教えいただきたいと思います。(回答はアイデアやご意見がある場合のみで結構です)

### 【新設のご意見】

- ◆林業に関するゲームやプレゼントコーナーを作る。
- ◆メルマガによりホットな話題を提供し、ホームページに誘導する。
- ◆Facebookを立ち上げそれとのリンク。山林機材会社、環境問題の会社等に、有料の広告用のバナーの取り付けを提供する。
- ◆巡礼路を整備して欲しい。スペイン巡礼のような森の中のウォーキングロードを作ることから森林管理局という存在を知ってもらいたい。でないと誰も知らない。スペイン、フランスは森の匠が素晴らしい。ぜひ、真似すべき。
- ◆森は身近で大切なんだということを知ってもらいたい。キャラクター作り→幼稚園や小学校への訪問。
- ◆「全国植樹祭」や森林に関する博覧会、イベント等の模様が視聴できる動画コーナーがあれば、是非設置頂きたいと思います。文書や写真等の静止画も良いのですが、動画による森林関連ニュース等は、より視聴する対象者への説得力が高まるように感じます。個人的希望を述べれば、植樹風景や、きのこや山菜等の選別採取模様、そして、鳥獣捕獲シーンと、出来ればジビエ料理の制作過程動画等、限りなく普段あまり接することの無い森林ならではの動画を配信して頂ければ、森林への興味を抱く人々が増加するきっかけ作りになるのではと考えます。
- ◆古来より人間活動の主たる場所は「山」であったことをキャッチフレーズに、歴史(時代背景)も取り入れつつ、何故に今が森林なのかをHP上でシミュレーションするとかはどうでしょうか。資源(燃料)として活用する縄文・弥生時代から、グリーンツーリズム(観光資源)ともなる人間との共生のサイドでも。森林管理局様が独自の「森林物語」(仮)などのストーリーを作成されたら。絵本や紙芝居に仕立てるなども一興かと。
- ◆ホームページと広報の為にシールを作って欲しい。玄関用、車用、バッグや携帯用。そこにホームページを記載する。単に配布するのでは無く、森林税参加型販売にしたらと考えます。(社会貢献)
- ◆アイデア1 国有林についてクイズを1ヶ月毎に出す。正解者の中から数名に現地の特産品を商品として出す。アイデア2「国有林レポート」(仮題)を閲覧者から募集する。その際、何枚そこにしたかを記入する。→局で審査→1名に委嘱する。→事前レクチャーは電話かメールで→レポート催行日を調整する。→実施→レポートの提出→広報担当者としり合わせ→掲載→謝礼として現地までの交通実費と原稿料(3~5千円)アイデア3「森女(もりじょ)」の募集とネットやマスコミでの広報
- ◆かな馬の写真をアップしては。和種馬はかわいいし、今動物が人気なので、出来れば和種馬さんに林業の広告大使としてホームページに出てもらいたいこと。あと、新聞やテレビやラジオで和種馬さんが広告大使になりましたと宣伝しては。詳しくはホームページを見て下さいというだけで、たくさんの人が見るのでは。和種馬さんはめずらしいからかわいい。あと、林野と森のひろばを兵庫県の区民センターや図書館などに置いてもらっては。専門の人が集まる所では無く、一般の人が集まる所に置いては。ホームページにプレゼントのコーナーを作り、間伐材などで作ったブローチやお風呂に入れる桧玉とかプレゼントすれば人が見るのでは。
- ◆国有林は、かなり山奥のイメージがあるかとも思います。国有林のエリアと、その周辺の観光地のガイドはどうでしょうか。例えば、宮島でしたら森林の映像と島内の風景とか。サンベ山でしたらサヒメル(自然館)やキャンプ場、牛の放牧の風景。森林の美しい風景などにより、国有林が身近に感じられるようになるのでは無いかと思います。

【広報活動へのご意見】

- ◆一般的な会社への積極的なアピールをすべき。行政の中でも目立たない存在のように思えるが、社会全体では本当に知っている人が少ない。
- ◆第一次産業自体が今の生活から遠く感じます。その中でも、農業は食育を通していくらか身近に感じられる気はしますが、林業はそうではありません。やはり、木工教室のような子供と保護者の興味・関心をひくことがあるといいのではないのでしょうか。
- ◆森のようちえんを開催しているところを紹介して小さいころから森に親しんでもらいその保護者にも森林に関心をもってもらおう。
- ◆今回、モニターをやって初めて地元西宮市の北山～六甲あたりが貴局の管轄で、正式名が「北山自然観察教育林」という名称であることを知りました。このあたりは、甲山森林公園と合わせて西宮市民の憩いの場ですが、北山が自然観察教育林であり、市民皆で保護していこうという気運を高めるためにも、市の広報誌などで貴局のホームページの案内を載せて頂ければ、貴局のPRにもなり認知度も高くなっていくと思います。
- ◆近畿中国森林管理局(早口言葉みたいですね)が、具体的にどんな仕事をしているのか、わかり易くアピール出来ればと思います。たとえば、各小学校に時間をもらって、林野庁の仕事について、話をさせてもらったり。いわゆる「ゆるキャラ」もいた(いる?)ようですが、浸透していないし。食いついてもらうには、それなりの「ユニークさ」や「親しみやすさ」「インパクト」が必要だと思います。ミス日本みどりの女神もいいのですが、やはり、素人さんより、芸能人のイメージキャラクターの方が、一般の人にはうけると思います。また、アニメ、または漫画のキャラクターをイメージキャラクターに使う試みはいかがでしょうか。
- ◆森林に関係のある団体やグループのホームページから近畿中国森林管理局へ飛ぶバナーを貼り付けてもらう様にお願いします。
- ◆近畿中国森林管理局を知らない人が多いのではないかと思います。山の日イベントの案内や、山地災害の危険信号など、分かり易く自然に目を向ける内容のパンフレット(見開きA3)程度のものを作成し、全小学校に配布する(家庭数)。その際にHPの案内(スマホでも見られる)をすれば知名度アップにつながると思います。
- ◆開かれた営林署を宣伝されてはいかがですか。小学生、中学生を対象に、いろんなイベントをしていることを宣伝とか。
- ◆ミス日本みどりの女神、ゆるキャラの活用。
- ◆まず、近畿中国森林管理局という場所があるということを知ってもらうことが大切だと思います。学校などでRINYAのような資料を活用してもらって、それを保護者と一緒に見る機会を増やすことで広まっていくと思います。あと、CMで林の大切さを視聴者に知らせるのも良いと思います。私も気になったものは、インターネットで調べるのが日常になっているので、興味をひくようなCMを作るのが良いと思います。森のひろばの表紙の写真のようなものを見ると、「この短期間に災害現場にダムを作れるんだ。身の辺りの危険な所にも作ってもらえるのかな?」と興味は出てくると思います。

【改善のご意見】

- ◆事務的なHPで楽しい感じではない。
- ◆新着情報と注目情報の量が多く、見づらと思います。少し整理して見やすくした方が良くなるのでは無いでしょうか。
- ◆一般人が見てもわかりやすいページづくりが必要。業界の人しか見ても意味がわからないと思う。
- ◆ウェブデザイン性が悪く、文字の羅列が多く面白みが少ない。もう少し写真などをトップページにするといいと思う。
- ◆トップページがあまりにも盛りだくさんで何を見てほしいのかがよくわからず、疲れてしまう。(分厚い報告書を見るようである。)多くの人に関心を持ってもらうためには、何かその時に本当に伝えたいことをまトップページで示すことが大事だと思う。すべての報告や詳細を知りたい人は、林業に関心を持っているのでいくらかでも細かく見るだろうが、新たに関心を持ってもらい人向けにはもう少し工夫がいると思う。
- ◆ホームページの「トップ画面」の文字が多く、又項目も多くすっきりしていない。もう少し、すっきりした画面にして、森林などになじみの無い素人でも、ある項目を開けたくなるような工夫も必要かと思う。
- ◆トップページをすっきり、簡素にする。一目見て、ごちゃごちゃしたイメージを受ける。わかりにくいので、次に展開しづらい。特に、新着、注目情報の項目が多すぎる。そのため、注目記事が埋没している。バックナンバーのボタンをつけ、そこに大半を収容したほうがよい。
- ◆わかりやすく、読みやすく、関心を持って閲覧できるホームページにしてください。

【その他のご意見】

- ◆パソコンも年々新しい物が出てくるので、高齢者は使い切れないと思います。パンフレット等、文字で書かれているものも発行を続けて下さい。
- ◆HPにて、軽度な伐採を申し込めるようにする。現状は、散策程度の道、支障木であっても、あれは国有林だから切れないとほとんどの人が思っている。常識的な程度(この線引きは難しいかも)であればHPから切れることになればとりあえず閲覧しに行く人は増える。目に触れる機会は多くなると思う。

(単位:回答数、%)

質問9	5月に送付させていただいた、近畿中国森林管理局の「平成28年度の重点取組事項について」の中で、関心が高かったものがあれば選択してください(3つまで)				
①	森林吸収源対策の推進	13	9%	①	13
②	多様な森林整備の展開	15	11%	②	15
③	シカ被害対策	17	12%	③	17
④	治山対策の推進	16	12%	④	16
⑤	生物多様性の保全	15	11%	⑤	15
⑥	林業の低コスト化の推進	11	8%	⑥	11
⑦	民有林と国有林が連携した森林整備等の推進	11	8%	⑦	11
⑧	フォレスター活動の推進	4	3%	⑧	4
⑨	技術開発と普及	3	2%	⑨	3
⑩	早生樹、エリートツリーの活用による森林資源の再造成への挑戦	7	5%	⑩	7
⑪	林産物の安定供給	4	3%	⑪	4
⑫	森林とのふれあい、森林環境教育の推進	17	12%	⑫	17
⑬	双方向の情報受発信	1	1%	⑬	1
⑭	伝統文化の継承への貢献	0	0%	⑭	0
⑮	大学、試験研究機関との連携の強化	4	3%	⑮	4
計		138			

※複数回答可のため、回答数としています。

質問10

これまで送付させていただきました各種資料の中で、専門用語など、特に分かりづらいものなどありましたらお聞かせ下さい。(複数回答可です。まとめて記入いただいても結構です。)

◆今回の「森のひろば」で、福井の小学生が「松葉かき」をして、もっとしたかったというような記事が楽しく印象に残ったのですが、「松葉かき」が「広葉樹を侵入しにくくする」云々が専門的でわかりにくかったです。もう一言有ればいいなと思います。

◆「ゲノム育種」や「エリートツリー」等、科学研究の専門用語ですが、あまりニュース、メディアでは耳にしたことがありません。とても興味深く感じましたので、今後の研究展開や活用の成果を含め、詳細な情報説明があれば記事掲載して頂くとありがたいです。

◆「緑の雇用」事業、具体的にはどのような支援がなされているのでしょうか。

◆緑の募金。出来れば口座振込先も書いて欲しいです。インターネットをすれば調べればわかる。でも人はめんどくさいので書いていなければ募金しません。老人がお金を持っていますから。老人はめんどくさいので募金はしません。だからお願いします。

◆コンテナ苗→ どのような物で、利点は、課題は？列状間伐 → 意味、他の間伐方法との位置づけ

◆複層状態、治山、(コンテナ苗の)活着、(能力の中の)合意形成力

◆樵(きこり)の定義はありますか。公的に認知された「職業」というか「資格」でしょうか。

◆「単木保護チューブ」、「原皮師」、「官行造林」読み方は？

◆平成28年4月に配布された「用語の解説」は役に立っています。グリーン・サポート・スタッフ、フォレスター等無理にカタカナに直す必要は無い。ただし、専用の機械類は仕方が無い。

◆地そん？(手偏に存在の存と書く)、複層伐、そま師

◆マルチキャビティコンテナ苗、LiDARデータ、トリガー(線)、そま師、ゲノム育種、フォレスター

◆フォレスター活動、早生樹、樵、そま師、ゲノムという言葉が分りづらかったです。

※複数の方から同じ用語についてご質問を頂いておりますが、原文のまま掲載いたします。また、解説につきましては、モニターの皆様にご覧いただき、追記させていただきます。

## その他の意見

◆国有林と民有林の総合管理。そういった取り組みが林野庁にあるのでしょうか？林業に携わる人たちから、国有林の管理がうまくされてなく、民有林に影響が出ているとの声も聞こえます。鳥獣被害が多発。クマの市街地への出没、森林内のえさの不足、木種を餌を考えてのものにしているのか？育種。森林構成と管理を考える時、DNA段階から選種する必要を感じています。スギ以外の木種について、遺伝子研究が進んでいるのでしょうか？

◆熊本の地震や、大雨による崖崩れや土砂災害を見ると、山が身近にありすぎるのも怖いと思いました。

◆国有林の質問や感想をFAXさせていただいています。モニター担当の方から分りやすく、国有林の方向や実情をご回答頂き感謝しています。今後ともよろしく願います。

◆もっと積極的なアピールがないと全く何をしているか世間ではわからないと思います。

◆森林は、水災害の防止を始め、その水を資源として保持貯蔵し、空気の清浄化や地球温暖化防止とその活用効果はいうまでもなく枚挙に暇がありません。その貴重な森林の有難さを表現したCMの制作放映を企画されてはいかがでしょう。「質問8」において、森林管理局のホームページの閲覧者増加に関する問いかけがありました。まず、そのホームページの存在をCMを通じて認知してもらおうのです。私も森林モニターとして採用して頂いたとき、初めてホームページの存在に気づきました。テレビのCMだと国民のほぼ全ての方々が毎日のように目にしているのです。そこでメッセージを流すことにより、まず森林への関心を持っていただけるとはならないでしょうか。そのCMにおいて、現在の森林の状況や森林に関するイベントの開催予定及び森林の貴重さ等、森林に対する関心を深めていただくのです。たとえ短時間、短期間のCMスポットでも、その内容に創意工夫を凝らせば、主張したい内容や思いは自然と伝わる様に感じます。例えば、現在の森林の話題性として、熊やシカの鳥獣被害があげられます。鳥獣被害対策と鳥獣捕獲後の処分方法としてのジビエ料理として人々に提供する効率的普及を目的としたCM作成等、森林のアピール材料としてCMは効果のある程度示すのではないかと推察します。一度ご検討を是非願います。

◆みどりの女神がいく。2016年ミス日本みどりの女神の飯塚帆南さん登場の記事、とても好感を持って読んでいます。(内容がわかりやすい)

◆コンクリートから木造へ。CLTに期待ですね。森林管理局という皆さんのお仕事は、本当に地道で目立たないけど大切な仕事ですね。もっともっと世間に広めると同時に知って欲しいですね、森林事業のこと。4月、枚方市に国有林が無いのが残念です。里山賞受賞の箕面の猿に感動。シカもかわいい。でも、ニホンジカによる食害対策を読み、かわいいだけでは済まされない現実も知りました。散歩できる範囲に国有林があるということは財産でもありますね。

十数年前、生駒山麓を歩いていたときのことですが(個人所有だったので)、あちこちに「竹の子盗るな」の貼紙を発見。入ってはいけない所を歩いているようで落ち着かなかったのを覚えています。カレンダーはカレンダーと言うより読み物として日々目を通しています。種を拾い、苗を育成し、5年育て……いよいよ山に帰してやる日が来た。「頑張れよ」と声をかけながらの作業。こういう活動を子供達としたかった……。カレンダーに載っているキャラクターが実にかわいいですね。5月、薪ストーブを囲む暮しがとても印象に残りました。ストーブの上のお鍋に、厳しい寒さの中のほっとひときつるやさしさを感じました。「国民の国有林」では、郷里に国有林を見つけ遠足で登った小学生のころを思い出し懐かしく何度も場所を確認しました。どの資料も用語が難解ですぐには理解できませんが、時間を見つけては目を通すようにしています。

## その他の意見つづき

◆質問1についてですが、林業にはくわしくはないので、わからないなりに印をつけたのですが、高齢の人工林をそのままにしておくのは良くないのでしょうか。日本の木材の需要が高まっているのなら高齢の樹木をどんどん活用して後生に残すための植樹が必要だと思うのですが。また、花粉症をおこさせない木(花粉を出さない)を植えるというニュースを見たことがあるのですが、実行はどのようなのでしょうか。今回の「林野」P12にも少しありましたが難しくよくわかりませんでした。

◆私は以前から「林業」は「農業」に較べて地味な印象を持っていましたが、以前「wood job」の映画が上映されてから林業についての興味・関心が若い世代において増加傾向にあると思います。その上で、第二弾として「wood job」の続編を企画していただければと思います。日常時には将来の「林業」の担い手として、小学生以上からの森林環境教育を林野庁と都道府県の教育委員会が連携して、さらなる充実を計って欲しいと思います。

◆国有林の管理に関しては森林管理局がいろいろなことを実施しているのが、いただいた色々な資料をみてわかりました。このようなことが、もっと広く人々に知っていただけるにはどうしたらよいかを考えることが重要だと思います。

◆貴局から送付される文書について、毎回膨大で、「重点取組事項について」などは、いわゆるプレゼン用の資料という感じで、見ただけではなかなか理解しづらいものでした。送付頂く文書などについて、もう少し絞って頂ければモニターとしても目を通しやすいように思いました。

◆国有林モニターを今年で三回目と続けさせて頂いています。また、本年も国有林モニターの開催予定を楽しみにしております。今のネット社会での情報収集は容易だと思います。が、直接現地に赴いての設定はありだと思います。同席の有識者の方々、管理局の職員の対応もです。JRでの旅感もいいです。体験し、皆様からの喋る内容が豊かと言いますか、森林全般に関し知識もですが、付加価値のボリュームの度合いが高いと思います。期待以上の感動があるということです。現実、田舎に帰って得た知識や感動を地元で活用しています。こんな事書きましたが今後もよろしく願います。失礼します。

◆森のひろば6月号に、山地災害の危険信号を見逃すなが掲載されていましたが、とてもタイムリーだったと思います。梅雨の時期には集中豪雨があり、多くの人や家屋、田畑が被害にあわないためには、早期に手を打っておくことが大切だからです。今月号にも小学生が山と関わったり、木材と関わったりしています。幼少の時から関わっておくことにより、一人でも多くの方が林業に関わる職に就いて欲しいと思います。そして、今荒れている森林を少しでも改善していける担い手を育てていくことが大切だと思います。

◆日本国土の2/3を占める森林を、今後とも守り、又、有効活用して行くなどの事業に取り組まれておられる貴局はじめ関係者の皆様の活躍をお祈りいたします。

◆バイオマス燃料の現状と工場等を建設する制度的課題等ありましたら取り上げて下さい。森林に働く人が直接林野庁に意見する制度等ありますでしょうか。

組合林がありますが、一無役の人の意見がなかなか採用されない以前に議論されない現状があるのでは無いでしょうか。「修学旅行を山へ」という例を造って下さい。以上

## その他の意見つづき

◆職場見学を多くの場で行い、林野庁というものを知ってもらおうと同時に、もっと人員を増やし、一般に林業の大切さを知ってもらいたいと思いました。(近畿中国森林管理局の職場見学会から)

◆国内の林業は今、どの方向へ向かっているのでしょうか。保護、開発、維持、縮小。資料を拝見すると、人員等縮小の傾向にあります。日本の森林が顕著に減少したわけではないのに、管理者を減らしてゆくことが正解なのか、疑問です。特に、予算については、木を伐採しても、それを山から搬出する予算がつかないとか、とてもバランスがよいとは思えません。森林と共存しようとするならば、管理を怠ることは、我々の生活自体を脅かすことに繋がると感じています。

◆日本は、海と山の資源に恵まれていると思います。国土の70%は山(森林)エリアとなっています。都市生活ですと、森林をあまり意識することは無いかもしれませんが、水と酸素の供給源であり、生物多様性のエリアでもあります。都市生活が出来る基盤を支えていると思います。それだけに、多くの人々に、その重要性を広報することは必要なことと思います。森林の広報としても、都市部のイベントから実際森林へ出かけるイベントも多数有り、多くの人が「知る」きっかけになるとと思います。以前、平和公園内の会議室(ホール)で森林シンポジウム+映画「ウッド・ジョブ」の上映がありましたが、参加者多数でした。毎月のフォレストニュースも活動の内容が分りやすいと思います。

◆国有林というのは何という疑問がよくわからないままです。国が所有する山で地域によって「質問4」の項目の為にあるという認識で良いものなのか?もしその役目があるのであれば、それが見える化されたものを見たことがありません。又、情報資料は林業のものが多くあります。今回の地方創生などでも生き生きとした林業は、伐期にとらわれない高性能、高品質の林業が取り上げられます。一方で、50~60年伐期で植樹するという林業は破綻しつつあるのに、これが一般的な扱いとして取り上げられています。とても矛盾を感じています。

◆最近のテレビのニュースでオゾン層が小さくなったとの事を知りとても嬉しく思いました。その原因は言われませんが、山や森のおかげではないかと思いました。日本の国土の7割が山や森林であるとモニターになって知りましたがもっともっと一般の市民が山や森と親しくなる方法はないものかと悩んではいるのですが。

◆モニターの仕事内容。初めてモニターをするが、1年間の仕事内容がわかりづらい。特に、このアンケート以外。年間スケジュールで、概略をわかりやすく広報してもらいたい。

◆密集した森を間伐して、それを山から平野に出すのは大変な作業だと思います。山の中ののり面をけずり、道をつくり、舗装して。私は、山登りするものです。今まで無かったところに登山道が分断され、輸送用の道路が出来ています。そののり面が崩落している所があります。密集した松、桧、杉原をどうやって活用するのかな!ひよろひよろで、その下には下草も生えず真っ暗です。今、戦後に植えられた樹木が問題になっています。どう処理されるのかなあ。

◆今回のアンケートともう一枚のアンケートが重複しているように思いました。書く箇所が多いので少し困りました。

◆外国から安い木材を輸入しているそうですが、国産の木材を利用すべきと思います。利用できるようにコスト用途をしっかりと考えて。